

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	NTTグループケアポート岡山
日付	平成17年12月14日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での認知症高齢者の看護、介護業務歴17年 認知症高齢者の介護及び相談援助歴23年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします) まだリンク先はありません。	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・オープンして間もないですが、一日一日が楽しく、落ち着いた生活が送れるように環境を整えられています。職員もゆったりとした態度で優しく対応されていました。 ・緊急時の対応が円滑にできるよう協力病院を多く確保されており、細やかに連携をとられています。 ・入居者が生活しやすい環境づくりを工夫し、取り組まれています。 ・入居者は、笑い声がよく聞こえる和やかな雰囲気の中で、とても落ち着いて生活されています。 ・併設施設との合同会議や研修などを開催し、交流を深めると共に情報を共有されています。 ・夜勤を2名にすることで、緊急時に適切な対応ができるよう、また、スタッフの不安・ストレスの除去ができるよう努めておられました。
特に改善の余地があると思われる点
<p>訪問調査時にもご提案をさせていただきましたが、次の点について、配慮が必要ではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、見守りにより対応できていますが、トイレドアの鍵位置が高く、入居者がほとんど使用できないため、他の入居者が戸を開けることが想定されます。さらに、プライバシーの確保ができる工夫として、ドアに「使用中」の札をかけるなどの配慮をされてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、「長生きをして良かった」と入居者や家族から喜んでもらえるように、思いやりと言葉かけを大切にされた支援を心がけています。 ・事業所では、「家・家族・人間とは」をテーマに、優しさと思いやりをもって、入居者の人格を尊重した支援がなされていました。 		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れ親しんだ食器、はし、家具などを持ち込まれ、使用されていました。 ・入居者の身体状況を良く理解されており、一人ひとりのペースに合わせた対応がなされています。 		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者のペースに合わせた声かけをし、対応がなされています。 ・入居者の羞恥心に配慮したさりげない排泄支援をはじめ、入居者のペースにあわせて支援を行なっている様子が随所に見られ、事業所の理念を具体化しようとする姿勢が感じられました。 ・入居者に関する問い合わせなどには、直接家族の方に聞いてもらうなど、守秘義務に努めておられます。 		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が起きたときは、ヒヤリハットに記載し、原因究明や対応に取り組まれています。 ・食事の献立の内容や食べやすさなどをチェックし、個々にあわせた内容になっているか、検討されています。 		